



# TT R125LW用 ビッグキャブレターキット(VM26)

## 取扱説明書

商品番号：03 05 331  
適応車種：TT R125LW (5HP)  
'02モデル～

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

### ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。  
この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。  
商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。  
他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。  
当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。  
補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。  
キャブレターは、天候・湿度・気温・標高や気圧等、自然現象および車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。  
尚、キャブレターのセッティングは、本取扱説明書末尾に記載している状態で出荷しております。

**注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

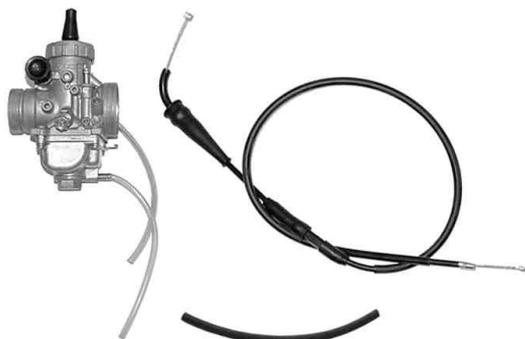
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時35（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。  
（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。  
（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。  
（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。  
（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
（部品の脱落の原因となります。）

**警告** 下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。  
（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。  
（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。  
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。  
（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。  
クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

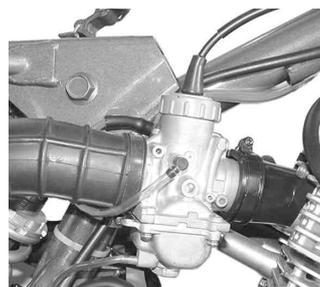
## ～商品内容～



番号	商品内容	数量
1	キャブレター本体 (VM26)	1
2	スロットルケーブル	1
3	フュ-エルホース	1

## ～取り付け要領～

1. 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
2. フュ-エルコックを開けて、シートとフュ-エルタンクを取り外します。
3. キャブレターのドレンコックを開き、フロートチャンバー内のガソリンを受け皿に抜き取ってから、フュ-エルホースの接続を、タンク側から外します。
4. キャブレタートップを外し、スロットルバルブを取り外します。
5. キャブレターから、スタータープランジャーとエアイベントホースを取り外します。スターターノブとケーブルはブラケットごと取り外します。
6. スロットルバルブスプリングを圧縮し、スロットルバルブとスロットルバルブスプリングを、キャブレタートップから取り外します。
7. スロットルグリップハウジングのスクリュー4本全てを取り外し、スロットルグリップハウジングから、スロットルケーブルを取り外します。  
この時、スロットルケーブルの取り回しや、グリップの取り付け角度を記録しておく事をお勧めします。
8. エアクリーナージョイントクランプと、キャブレタージョイントクランプのスクリューを緩め、キャブレターを取り外します。  
インテークポート内に異物が入らない様に注意して下さい。
9. 本キット付属のスロットルケーブルを、スロットルグリップハウジングに取り付け、純正ケーブルと同じ様に取り回します。
10. VM26キャブレターのキャブレタートップを外し、スプリング、ニードルクリップリテーナー、スロットルバルブを抜き取ります。
11. キャブレターに付いている、ラバー製のケーブルキャップを、先程取り付けしたスロットルケーブルに通し、キャブレタートップを取り付け、スプリングを入れてスロットルバルブに取り付けます。
12. ニードルクリップリテーナーを、スプリングとスロットルバルブの間に取り付けます。スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせて、キャブレターに取り付けます。
13. 8で取り外したエアクリーナージョイントクランプと、キャブレタージョイントクランプのスクリューを完全に緩め、スクリューに通っているカラーを取り外し、スクリューを取り付けます。
14. VM26キャブレターを取り付け、クランプの凹み部をジョイントの凸部に合わせて組み付けます。  
この時、キャブレターが斜めに差し込まれていたり、傾いて取り付けられない様に注意します。
15. スロットルバルブを向きに注意してキャブレターに差し込み、キャブレタートップを取り付けます。
16. エアクリーナージョイントクランプと、キャブレタージョイントクランプのスクリューを締め付けます。  
両方のクランプが、なるべくキャブレターに近い位置になるように、スクリューを締め付けます。
17. スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認して下さい。スロットルの遊びがグリップ部分で5mm程度になるように、スロットルケーブルのアジャスターを調整します。
18. キャブレターのエアイベントホースを、車両側のエアイベントホースに差し込みます。
19. フュ-エルタンクを車体に取り付け、本キット付属のフュ-エルホースを接続します。  
フュ-エルコックを開いて各部からのガソリン漏れの有無を確認します。
20. スロットルバルブの引っ掛かり等が無い事を確かめ、チョークレバーを引き、エンジンを始動させます。  
回転がスムーズになるまで暖機運転を行い、チョークレバーを戻します。エンジン暖機後アイドルリングしない場合やアイドルリング回転が高い場合は、スロットルストップスクリューで調整します。回転数が高い場合で、スロットルストップスクリューで調整しても、回転が落ちない場合は、キャブレターとエンジン側のジョイント部で、2次空気を吸っていないか点検して下さい。
21. 安全な場所で十分注意し、個々に合ったセッティングを行って下さい。



### キャブレターの初期セッティング

メインジェット	# 190
パイロットジェット	# 22.5
ジェットニードル	5E75
クリップポジション	3段目
スロットルバルブカッターウェイ	# 1.5
エアスクリューオープニング	1 1/4回転戻し

### SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>